

メディアコミュニケーション演習/

Media Studies in English と日本語

担当教員: 志柿浩一郎 Instructor: Koichiro Shigaki

Image Creator: Kittisak_Taramas | Credit: Getty Images/iStockphoto

)

- 授業関係のアナウンス、課題詳細説明、リフレクションへのコメントなど
- **ゼミ専用日英フレーズ集をつくる (Creating useful phrase lists for this course)**
(これ随時)
- 英語の音に関する説明のあと、作ったフレーズ集で会話を作ってみる (コンテキストあるいは使う場面を考えて、作り、声に出す、余裕があればショートコントをつくる)
- **グループ活動 1:** 英語だけではなく、語学学習全般で嫌いな部分を共有する。一体どこから毛嫌いするようになったのか、その問題の根源が何か、何が要因か、洗い出す。どうしたら嫌じゃなくなるかお互いに解決策を見出してみる。(20分~30分)
- **グループ活動 2:** 発表テーマの大枠を決めたら、発表15分~20分に収まる内容にするために、曖昧な興味・動機ではない状況にし、具体的な内容に落とし込む、または対象を絞り込み明確にしていく作業をする (これは来週以降も) (20分~30分)

予習・課題

授業外学修

- 英語の自学自習方法を色々試す
- 発音をよくするための英語の曲を選び、Slacksに曲を共有（先生がそのチャンネルを作る。選曲締め切り**5月24日**）、唄うのいいかどうか、先生が個別アドバイスする。そのあと発音を良くしていくため、歌で練習しつづけること。
- 研究計画書作成準備のために、テーマを決める（Slackで先生に事前共有）（大半していないので、もうタイトル決めるところから、Googleフォームを先生が作成するので、そこに**5月24日**まで記入）

上記に関して: 「Youtube/Netflixはなぜ成功したのか」や「SNSで求められるスキル」「フェイクニュースを見破る方法」といった安易なテーマから離れる訓練をしていく

授業外学修

- グループで作成しているだるうフレーズ集を継続して作る。
- **5月24日**（1回目の締め切り）に1度先生に共有。（授業内で確認するけど、もう何もしない感じになりそうなので、1回提出してもらおう）
- フレーズは声に出して練習する。発音が気になるのであれば、授業時間などを利用し、先生に確認する。
PCやスマホ自動読み上げ機能を英語にして読ませる

英語学習でやるといいこと

継続できる方法の一つ

- 音読（ただし、高校でやった感じではなく、自分が面白そうだな、興味があるな、といったテーマの英文を読み上げる）

- 音読の効果
- インプット（多読、多聴）をやってほしい
- どうやって

音読はどのような目的でやんの

- 音声と文字を結びつけるため
- 語彙や文法規則を体に内在化させるため

35040 vs. 3065

多読・多聴も同時にする

- 多読・多聴はインプット量を増やす
- 多読は読みの流暢さを高める

多読・多聴も同時にする

- 辞書は引かない（読み終わって引く）
- わからないところはとばす
- つまらなければやめて、ほかの面白い内容を見つける

シャドーイング/リスニング

- 復唱する。
- 黙読もする。文字をなぞりながら、心の中で発音する・実際に聞いている音をまねする。

English Sounds

- Hello, my name is Marica
- The Plane is ready to take off

空耳...

- アメリカでバスを降りるとき、「揚げ豆腐」と言うとドアが空き降りていくアジア系の人がいた。
- イベントに入るうとして友達に「ていうか、あっちいけ」

- eLLO (LO) Money's ma-RI-
Kua
- D (Z) P(b)re-n (i) Z
R(we)Dy Tu TeiCaF(V)u

英語が早く聞こえる理由、聞き辛い理由

- 日本語に慣れているので母音を聞こうとする。
- **全ての単語、文が聞こえるはずという錯覚**
- 綴りと実際の音、発音するべきとされる音と実際の音の違いがあることに気が向かない。

P

H

ge (message)

V

sure (pleasure)

Th(thank)

th (Bath)

K

R&L (rural)

T

Ch

S

To

P = B

ge (message) = **Ji**

V = F

ge (massage) = **zi**

Th(thank) = D

sure (pleasure) = **Zya**

K = Gu

th (Bath) = **Shu** (可能であればth)

T = D

R&L (rural) (うーあう)

S = Z

Ch = **Chi**

H = you can cut off

To = **Ta**

英語の音を知る

- 子音が強調されて、母音は弱くなる。(子音の後に母音が来る場合)
- リエゾン: I am... => Am または M に音が近くなる。
- 子音の音が変わる。

I want to => I **WaNNa**

S/he wants to => S/he **WaNCha**

I am going to => I **GoNNa**

I have to => I **aFTa**

I should do => I **ShuDa**

Thank you =>

DanGyu

I think it is good =>

(I) DinGit Gu(D)

He has to go =>

e haZTa Ga

I like him =>

a LiK-iM (or LiKiM)

Pleasure to meet you =>

BuLeZya Ta MeaChu

Taylor Swift - Shake it off

- 歌詞の冒頭が「足を取れい」にしか聞こえない
- Shake it offは、鮭（シャケ）等（トウウ）に聞こえる



SHAKE IT OFF - Taylor Swift

LyricsBy KatieB

これ先生が歌で勉強する方法の見本で唄うから... 課題として自分で音楽みつけてゼミやろう (やらないという選択肢はなし)

COULD YOU BE LOVED

Bob Marley



まず「グループ」でやること

Outline

- **ゼミ専用日英フレーズ集をつくる (Creating useful phrase lists for this course)**
- **グループ活動 1:** 英語だけではなく、語学学習全般で嫌いな部分を共有する。一体どこから毛嫌いするようになったのか、その問題の根源が何か、何が要因か、洗い出す。どうしたら嫌じゃなくなるかお互いに解決策を見出してみる。
- **グループ活動 2:** 発表テーマの大枠を決めたら、発表15分～20分に収まる内容にするために、曖昧な興味・動機ではない状況にし、具体的な内容に落とし込む、または対象を絞り込み明確にしていく作業をする（これは来週以降も）

発表テーマの選択し、対象を明確にする

- メディアを何故学ぶか (1グループのみ)
- メディア史: メディア史:メディア技術がどう発展し、社会がどう変わっていったか (2グループ)
- メディア表象の問題:ステレオタイプ、ファッション、インスタのイメージ、ルッキズムなどが含まれる (2グループ)
- メディアの影響①: 自分達の考えや視点にどう影響していると思う? (この場合のメディアは媒体) (2グループ)
- メディアの影響②:プロパガンダの歴史、アジェンダセッティングなど (2グループ)

例1

- メディアの影響①②

→ 予想として「メディアは影響が強いと思います」「メディアは影響力が強いので、批判的に見ていかなければなりません」になりがち。それではメディア学科にしながら、何をしてきたと言われる

→ メディアの影響で何が問題になるのか？

→ ネットというのを取り上げると「ネットで生活様式がどう変わったのか」は良く選ばれるテーマ。でも、何故それが問題となるのか？先生だったら、シンプルに「別に変わってもいいじゃん、何が問題なの」って言いたいがね。そこを考える

→ ネットだけをとってもまだ大きなテーマ。具体化していく。例えばSNS。SNSでも色々ある。Line? Instagram?

→先生が思いつくもの: Instagramと学生の表現活動、Instagramと学生の自尊心の高低、SNSへの学生の依存度と学業成績の関係

例2

- ・メディアを何故学ぶか（1グループのみ）
 - 「虚偽情報を鵜呑みにしないようにするためです」みたいなことは言わない。それは表層的な問題。学校の先生や生徒が言いガチ
 - メディア論、マスコミュニケーション論、メディア学、社会情報学といった学問になっている理由を考える
 - メディアというのが何故研究されているのか？が重要
 - なぜ制作や実践的なことと平行してやらないといけないか（何故日本の大学では学問的なものになってしまっているか）
 - 可能なら、難しい言葉を使用して、大事であることを説明する。メディアは成長分野で巨大なビジネスチャンスがあるから・メディアから発せられるメッセージには特定のイデオロギーを含み、無意識のうちに送信し、受信している、などなど。